

議員活動自己検証シート(公約の取組) 令和7年度			会派名		公明党											
			期数	(議員歴)	2期	(6年)										
	議員名 中原秀樹	検証項目(10項目) 【検証値の捉え方】 1年間の議員活動・取組内容について…… ➡「ほぼ満足している」= "A" 1.0 ➡「さらに努力する余地があると思う」= "B" 0.5 ➡「思ったような取組ができていない」= "C" 0	所属委員会 等		総務常任委員会 予算決算常任委員会 議会運営委員会 議員活性化等検討特別委員会 副委員長											
公約を検証する背景(根拠)		議会基本条例前文「市民の代表として選ばれている議員は、市民の負託にこたえる責務を負っている」／21条「この条例の目的及び趣旨の達成状況について検証を行う」														
検証の対象／分野		議会基本条例第4条 議員活動の原則／議会活動の活発化「住民参画」「情報共有」「機能強化」分野の取組について(早稲田大学マニフェスト研究所文献引用)														
検証方法		「公約」について、成果如何に捉われず、その実現に繋がる年間の議員活動・取組内容を自己検証する(本シートに記載する公約内容は自由選択：重複可)														
議会基本条例第4条(議員活動の原則) ①【情報共有】【住民参画】選挙によって選ばれた市民の代表であることを自覚し、市政の課題全般について市民の思いを的確に把握し、市民全体の福祉の向上をめざすこと。 ②【機能強化】議会が言論の場であること、及び合議制機関であることを認識し、議員相互間の自由な討議を重んじること。 ③【機能強化】日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努めること。 ④【機能強化】地方自治の本旨にのっとり、政策、条例、意見書等の議案を提出する努力をすること。 ⑤【機能強化】【情報共有】市政の課題に関する論点を市民に明らかにするため、一般質問を一問一答方式により行うこと。																
(公約1) 若者が希望を持って生活できるまちづくり			検証		1年間の主な活動・取組内容、または、取り組めなかった事項と理由 等 注)検証に繋がる活動等、成果等(事業の見直し等)を記入すること。											
人口減少、少子高齢化の歯止めをかけ、子育てしやすい環境の整備																
	住民参画 3point	(1) 住民や地域との積極的な対話(ニーズの把握)	A	地域活動(消防団活動を含む)への参加を通じて、同年代や年長世代の方々と多様な意見を交わす機会を得ることができた。特に学校の再配置に関しては、それぞれの立場から多角的な考えを聴取することができ、大変有意義であった。												
		(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	A													
		(3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践	B													
	情報共有 3point	(4) 現場調査・現状確認、聞き取り、先進事例等の調査研究活動	B	地元の保育所や小・中学校の校長を対象に、現状と課題に関する聞き取り調査を実施し、その結果を一般質問へ反映させることができた。一方で、報告会の開催が1回に留まり、参加者が限定的であったことや、議会(定例会)ごとの広報誌発行が叶わなかった点に課題を残した。また、発行した広報誌についても、全戸配布には至らず限定的な地域への配布に留まった。												
		(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	B													
		(6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信	B													
	機能強化 4point	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	A	学校再配置に関する一般質問を行った。地域住民が抱える不安について聞き取り調査を実施し、独自の分析をもとに行政へ課題を提起した。一方で、まちづくりの観点から見た再配置計画の課題検証や、他自治体における先進事例の調査研究には至らなかった。今後は、会派としても視察研修や勉強会に注力し、組織的な研究・提言力を高める必要があると痛感した。												
		(8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底	B													
		(9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	B													
		(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	B													
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)	値合計		6.5													
(公約2) 中山間地域の元気な農業、商工業の振興			検証		1年間の主な活動・取組内容、または、取り組めなかった事項と理由 等											
農業や畜産、林業の活性化。人材確保と働きやすい環境の整備																
	住民参画	(1) 住民や地域との積極的な対話(ニーズの把握)	A	酪農・畜産農家から聞き取りは、ある程度できた。酪農家や畜産農家が減少する中で、堆肥の循環性についての課題も聞いたが、解決策に向けての取り組みが行えなかった。林業や商工関係については、調査ができなかった。												
		(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	B													
		(3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践	B													
	情報共有	(4) 現場調査・現状確認、聞き取り、先進事例等の調査研究活動	B	畜産業の抱える課題や、三次市における第一次産業の安定化に向けて、関係者への聞き取り調査を実施した。しかし、これらに関する取り組みを広報紙に掲載し、住民へ広く発信するまでには至らなかった。												
		(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	B													
		(6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信	B													
	機能強化	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	A	畜産業や第一次産業の課題について聞き取りを行ったものの、議会での一般質問へ結びつける成果には至らなかった。当初計画していた畜産農家への視察についても、日程等の調整がつかず見送りとなった。この反省を踏まえ、来年度は大型畜産農家への視察を確実に実行し、「稼げる農業」の実現と前進に向けた具体的な政策立案に取り組む。												
		(8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底	B													
		(9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	B													
		(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	B													
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)	値合計		6.0													
(公約3) 高齢者、障がい者への福祉の充実			検証		1年間の主な活動・取組内容、または、取り組めなかった事項と理由 等											
誰一人取り残さない生活交通の見直し、高齢者も暮らしやすい地域づくり																
	住民参画	(1) 住民や地域との積極的な対話(ニーズの把握)	A	手話言語および情報コミュニケーションに関する条例の制定に向け、難聴者協会、ろうあ協会、ならびに手話関係団体からの聞き取り調査を実施した。												
		(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	A													
		(3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践	B													
	情報共有	(4) 現場調査・現状確認、聞き取り、先進事例等の調査研究活動	A	本市における過去の経緯や他自治体の導入状況など、多角的な情報収集に努めた。広報紙においては、障がい当事者の目線に立った一般質問の内容や、執行部との議論の経過について掲載・発信を行った。												
		(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	B													
		(6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信	B													
	機能強化	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	A	一般質問においては、難聴者協会やろうあ協会をはじめとする各障がい者団体から聞き取った課題について網羅的に取り上げた。また、会派としても各団体との意見交換会に継続して参加し、組織的な課題認識の共有を図ってきた。今後の取り組みとして、条例制定に向けた専門的な研修会の開催や、他自治体の先進事例に関するさらなる状況調査が必要であると考えている。												
		(8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底	B													
		(9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	B													
		(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	B													
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)	値合計		7.0													
公約に係る年間の議員活動・取組状況の検証と次年度の目標設定や課題の選出			※昨年度に課題として掲げたことに対する取組や次期の活動目標など													
若者が希望を持って生活できるまちづくり 人口減少、少子高齢化の歯止めをかけ、子育てしやすい環境の整備		活動の一コマ 芸備線沿線協議会の勉強会		 ○ 学校再配置計画への対応各方面からの聞き取り調査は進んでいるものの、各地域における具体的な解決策の提示には至っていない。特に関心の高い「通学時間の確保」や「放課後の居場所づくり」等の対応について、今後も継続的な調査・提言が必要である。 ○ 農業振興と有害鳥獣対策今年度は農業分野に関する調査研究が不十分であった。今後は増加傾向にあるシカやイノシシによる農作物被害の防止に向け、実効性のある課題解決策を提案できるよう取り組む。 ○ 公共交通(AIオンデマンドバス)の検証AIオンデマンドバスの運行に関しては、これまでの実証実験から見てきた課題や効果の検証状況について、引き続き詳細を確認していく必要がある。 ○ 地域福祉の充実福祉分野においては、障がい当事者や独居高齢者、認知症高齢者が抱える生活課題について、今後も継続して現場の状況調査を推進する。												
<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 6.5																
中山間地域の元気な農業、商工業の振興 農業や畜産、林業の活性化。人材確保と働きやすい環境の整備																
<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 6.0																
高齢者、障がい者への福祉の充実 誰一人取り残さない生活交通の見直し、高齢者も暮らしやすい地域づくり																
<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 7.0																
無断複製・転用はご遠慮ください。				三次市議会 議会運営委員会												